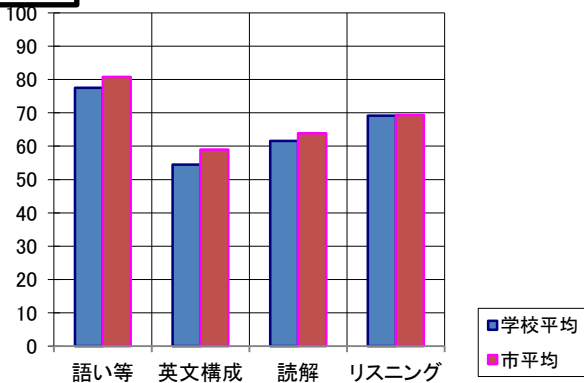


平成27年度「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 市岡中学校

3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	77.5	54.5	61.6	69.2
市平均	80.8	59.0	63.9	69.4

(%)

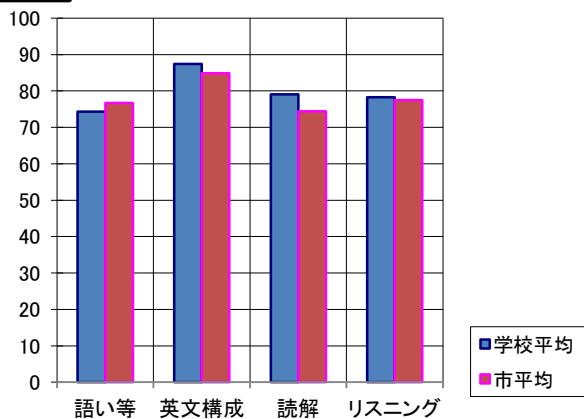
3年



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	74.3	87.4	79.1	78.3
市平均	76.7	84.9	74.4	77.5

(%)

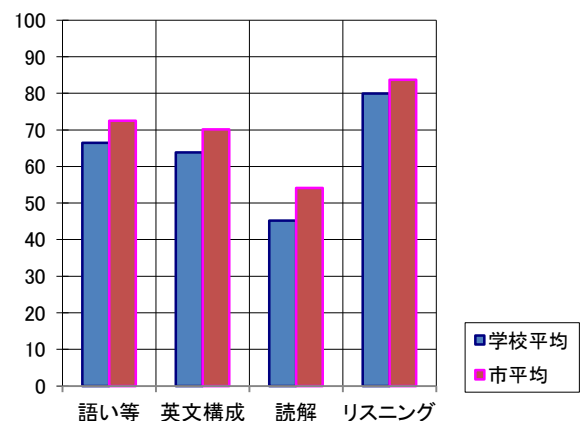
2年



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	66.5	63.8	45.2	79.9
市平均	72.5	70.1	54.1	83.7

(%)

1年



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

「語い等」の分野の正答率は約8割であったが、「リスニング」「読解」は約6割程度で、市の平均とほぼ同程度であった。また、「英文構成」においては、5割を少し超えた程度で、市の平均より下回った。

《結果をふまえた今後の取組》

まずは、「語い」の数をミニテストなどの回数を増やすなどして身につけさせ、大阪市平均を上回るように指導する。また「リスニング」や「読解」においては、授業で、できるだけ取り組む回数を増やし力をつけた。い。「英文構成」は、グループ学習を増やし身近な話題の課題を設定することによって能力をつけたい。

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

大阪市の平均と比較し、英文構成・読解・リスニング分野において本校は平均を上回ることができた。一方、語彙・文法の分野は市平均を2.4ポイント下回った。

《結果をふまえた今後の取組》

英文構成・読解・リスニング分野は今の力を現状維持ではなく、さらに伸ばしていく。そのために、基礎基本を疎かにすることなく、その力をベースに発展的な課題を与えて力を伸ばし、引き出していく。課題の語彙・文法は、語彙に関しては、音と綴りが連結できるようにフォニックスの復習を実施し、音声とアルファベットの並びがスムーズに頭の中に入るように、聞く、読む、書くの流れをを反復練習する。また、文法に関しては、復習をメインに多数の生徒のが理解できるように、こちらも反復練習を実施していく。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「語い等」と「英文構成」の分野の正答率は約6割であったが、「リスニング」は約8割程度で、市の平均とほぼ同程度であった。また、「読解」においては、4割を少し超えた程度で、市の平均より大幅に下回った。

《結果をふまえた今後の取組》

まず、「語彙」の数は、ミニテストの回数をさらに増して大阪市平均を上回るように身につけさせたい。それにより英文構成へとつなげる。また、「リスニング」においては授業での体験を増やし定着させたい。「読解」についてはこれから比較的長い英文を数多く読ませることによって力をつけたい。